

資料紹介

郵政博物館保管 近現代絵画目録稿(3)

—簡易保険事業関係ポスター類—

郵政歴史文化研究会 第6分科会

1 調査の趣旨と経過

本稿は、2023年度、2024年度に引き続いて郵政博物館（以下「当館」という）が管理する、明治時代以来の通信事業の中で制作された絵画資料について、その基礎的な情報を順次公開し、広く学術的、社会的な利用の参考に供しようとするものである。今回の対象は、簡易保険局の事業に関連した主に第二次大戦までのポスター類で、当館の分類でXEA、XEBに属する計44点である。

本件調査は郵政歴史文化研究会第六分科会において、2024年度から2025年度にかけて郵政博物館資料センターで実施した。調査に参加したのは、分科会メンバーの田良島哲（主査）、杉山伸也、吉田暁子、大澤真理子と郵政博物館の菊池牧子、倉地伸枝、大橋恵美である。また、採寸と記載事項の確認作業には、学習院大学博物館学芸員課程の2025年度「博物館実習」受講生が参加した。

2 簡易保険の広報ポスター

(1) 沿革

前回報告（『郵政博物館保管 近現代絵画目録稿(2)』、『郵政博物館研究紀要』16、2025）で概説したように、1916年（大正5）に開始された簡易保険事業は、加入者勧誘のために積極的な宣伝戦略を採り、多様な媒体で広報を展開した。その中でも、全国の郵便局窓口に掲示された大判の広報ポスターは訴求力が高く、簡易保険局は、さまざまな機会に趣向をこらした図様のポスターを発行した。

ポスターによる宣伝が有効な拡張手段であることは早くから通信省内で認識されていたと思われ、1921年には「簡易保険宣伝用ポスターの発行」という記事が、『通信協会雑誌』161号に掲載されている。同記事によれば、簡易保険事業でのポスター発行の嚆矢は、事業の発足まもない1916年で「天女の中空に翻翔する図」を配したものである（図1）。1920年には「一は簡易保険府県別普及状況、一は渡しに舟、一は闇夜の光」の三種類（うち二種類が図2、3）を発行したが、それでも「まだまだ第一次の目的を達成しない憾みがある」として、1921年にさらに三種類を制作した（図4、5、6）。図4、5の原画は通信省職員であった浅井松彦、前田慶蔵がそれぞれ担当し、図6はこの時期を代表する図案家杉浦非水のデザインである。以降も引き続き、積極的なポスター制作が行われた。

原画の制作やポスターのデザインは、職員として簡易保険局に採用された美術家たちによる内製と、外部の画家や図案家に委嘱する場合の両方があった。前回報告でも指摘したように、職員たちの中には東京美術学校に在籍した者が複数確認できる（浅井松彦：1907年 西洋画科



図1 最初の簡易保険広報ポスター
1918年 原画：川崎臥雲



図2 渡しに舟
1919年 原画：浅井松彦
(『逓信協会雑誌』218 掲載)



図3 一寸先は闇
1919年 原画：浅井松彦
(『逓信協会雑誌』218 掲載)



図4 春種を蒔き秋実を刈る
壮年の備は老後の幸福
1921年
原画：浅井松彦
(『逓信協会雑誌』161 掲載)



図5 安心と幸福 1921年
原画：前田慶蔵
(『逓信協会雑誌』161 掲載)



図6 保険の翼なければ人生の安定は難し
1921年
デザイン：杉浦非水
(『逓信協会雑誌』161 掲載)

入学、前田慶蔵：1909年 西洋画科入学) ほか、当時の官展に出品、入賞するものもいた。外部に委嘱する場合に第一線で活躍する美術家が選ばれていたのも、各作品を見れば明らかである。大正期のポスターは、『逓信協会雑誌』218号「簡易保険創始十周年記念号」(1926年10月)の各所に挿図として掲載されており、簡易保険局としても広報物が事業拡大に大きな役割を果たしたことを自認していた。

ただ、『逓信協会雑誌』や省内誌『簡易保険』に掲載されている事業の執行状況と照合してみると、当館で原資料を収蔵するポスターは主に1930年代以降のもので、創業時から大正～昭和初期については、雑誌の挿図などから図様はうかがえるものの、原資料の残存は少ない。第一号ポスターを除くと、現存する最古のポスター原品は、関東大震災後の1924年と推定される「力の泉 安心のもと」(原画：浅井松彦、XEB-26 図12)で、おそらく通信省にあった多く

の原品は、震災による木挽町の通信省庁舎焼失の際に失われたものであろう。また、一部のポスターの裏面には「大分県久住郵便局」の墨書や印があり、郵便局の現場からの収集品であることがうかがわれる。簡易保険の広報媒体の制作過程は、簡易保険局内で完結していたため、郵便切手や絵葉書のように通信博物館が関与せず、組織的な保存が行われなかったのではないかと考えられる。

1930年代後半に入ると、日中戦争の長期化による戦費の調達のために、郵便貯金・簡易保険の資金が投入されるようになり、政府は国民に対して報国の手段として保険への加入を勧め、その見返りとして高額な保険金をを提示した。ポスターの好戦的な図様への変化や「簡易保険は700円まで入れます」「1,000円まで」「2,000円まで」と次第につりあがる保険金を知らせるキャッチコピーは、戦況とそれに伴う財政の悪化、そして当初の目的であった社会政策から様変わりした簡易保険の姿を、自ずから伝えている。

(2) 仕様と技術

ポスターの多くは、四六判半截（JIS規格で788mm×545mm）の用紙を縦長に使っているが、より大型の菊判全紙（999mm×636mm）を使った事例もある（XEB-17）。また、グラフや地図などを表示する際には、四六判全紙を横長にしたさらに大きな判型も利用された。縦長のポスターには、上下にあらかじめポスターレール状の金具を装着し、上部レールの中央には輪にした紐を付したものが多い。田島奈都子氏はこれを「棧」と表現している（田島奈都子『戦前期日本のポスター』2023年、47p）。

大半のポスターには印刷会社名が明記されており。凸版印刷、共同印刷、秀英舎・日清印刷（1935年に合併して大日本印刷）、東京印刷（1949年に大日本印刷と合併）といった当時の大手印刷会社が名を連ねている。油彩画を原画とした場合には特色印刷を仕様としていることがあり、「共同印刷株式会社特許オグデン製版印刷」（XEB-17）「日清印刷株式会社特許KIパントン製版印刷」（XEB-21）「HB 凸版印刷株式会社印刷」（XEA-7）のように、製版印刷技法を明示している。

(3) 原画と製品

当館が収蔵するポスターの特徴として、前回報告で紹介した原画が一部現存し、製品であるポスターとの照合が可能である点があげられる。これまでの調査で原画とポスターの両方が所蔵されている作品は、次の表のとおりである。なお、原画4703-05とポスターの同定、4703-13の原画作者については田島奈都子氏のご教示をいただいた。記して感謝申し上げる。

資料番号 (原画)	資料番号 (ポスター)	名称	年代	原画作者
4703-19	XEB/0021	保険金二十五億円 家あり人あり保険あり 簡易保険 (農婦)	1933年	三村常吉
4703-13	XEB/0035	進む皇軍後押す貯蓄 簡易保険 (兵士と農婦)		岸信男
8812-17	XEB/0003	簡易保険25年・郵便年金15周年 (父(兵士)と日の丸 の旗を持つ男子)	1941年	三田康
4703-22	XEB/0037	簡易保険をつける人は落ちて安心 落ちねばなほ安心 (つなわたり)		岡本一平

資料番号 (原画)	資料番号 (ポスター)	名称	年代	原画作者
4703-05	XED/0005	簡易郵便年金保険（ゆり）昭和14年日曜祭日表	1939年	山本鼎
4703-18	XEF/0007	健康相談と巡回看護 小児保険の被保険者も利用出来ます	1931年	笠松紫浪

ポスターは掲示による褪色が見込まれるので、厳密な比較は困難であるが、印刷に際して原画の色合いをできるだけ再現しようとした様子がかがわれる。印刷会社としても、自社の技術を多くの人目にとまる郵便局窓口で披露できるわけであるから、力が入ったことであろう。また三田康の原画を使ったポスター（XEB-3）の場合、原画にキャッチコピーの文字が直接貼り付けられている他、ポスターの範囲を示す枠線や見当合わせ用のトンボが刻まれており、原画が直接製版作業に使われていたことがわかる。

3 目録

凡例

- ・目録には、名称・寸法・制作年代・作者・印刷会社・形状や伝来についての注記を記載した。
- ・画像を掲載したものは、(図1)のように記載した。
- ・名称は、原則としてポスターの標語を記載した上、図様について、かっこ内に簡単な説明を加えた。
- ・原画の作者が判明する場合は、氏名を記載した。
- ・印刷会社は、ポスターに表示されているとおりを記載した。そのため印刷技術等の記述を含む場合がある。(例) 共同印刷株式会社特許オグデン製版印刷
- ・ポスターの原画が当館で所蔵されている場合はその旨を記し、所蔵品番号を注記した。
- ・文献等で作者・制作年が判明する場合、根拠となる資料名を [] 内に示した。
- ・ポスターが複数枚保存されている場合は「※2枚」のように注記した。
- ・一部のポスターは画像を掲載した。原則として原画の著作権保護期間が満了した作品を対象としたが、作者不明および没年不明の作者の作品については、画像を掲載している。作品と作者の経歴についてご存知の方は、郵政博物館に情報をお寄せいただきたい。

XEA-2

強く育てて 保険で護れ小児保険（男女児）

縦77.9cm 横108.0cm

(印刷) 東京印刷株式会社印行

※2枚

XEA-3

小児保険 昭和六年十月一日からお子さま方の保険が出来ました 熊本通信局(子供2人と兎)

縦77.2cm 横52.9cm

1931年(昭和6)

XEA-4 (図7)

小児保険!簡易保険局(木馬に乗った子ども)

縦75.5cm 横53.1cm

1931年(昭和6)

(原画)田沢八甲

(サイン)「8KO」

XEA-5

小児保険満一歳からはいれます 国民精神総動員(男女の子どもと熊のぬいぐるみ)

縦76.6cm 横53.0cm

1938年(昭和13)[通信協会雑誌 360号]

(原画)田沢八甲

(サイン)「八甲」

(印刷)東京・共同印刷株式会社印刷

*上下に金具あり。

*2枚

XEA-6

簡易保険 小児保険 昭和13年日曜祭日表(敬礼する少年)

縦39.0cm 横26.5cm

1938年(昭和13)

(サイン)「泉」か。

(裏面墨書)「展覧会用ポスター」。

*上に金具、紐あり。

XEA-7 (図7)

伸びる双葉に保険の光 小児保険 簡易保険局 (少女と人形)

縦73.2cm 横51.1cm

1933年(昭和8) [簡易保険 43号]

(原画) 河井清一

(サイン) 「Seiichi Kawai」

(印刷) HB 凸版印刷株式会社印刷

(裏面墨書) 伸びる双葉に保険の光 (小児保険)

(裏面印) 「大分県久住郵便局」

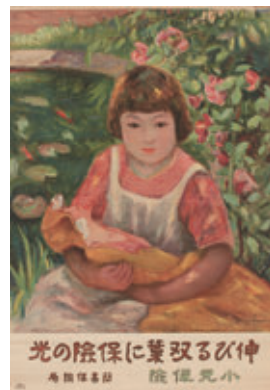


図7 XEA-7 伸びる
双葉に保険の光
原画：河井清一

XEA-8

小児保険地方別普及状況 昭和9年4月末現在 (緑色の棒グラフ)

縦77.7cm 横108.8cm

XEA-9

小児保健地方別普及別状況 昭和10年1月調べ (棒グラフ)

縦78.6cm 横108.6cm

(印刷) 東京印刷株式会社印行

XEB-1

簡易保険と郵便年金 (農業のたき火)

縦75.5cm 横52.9cm

(印刷) (東京) 共同印刷株式会社特許オグデン製版印刷

(裏面墨書) 簡易保険と郵便年金

*上下に金具あり。

※2枚。うち1枚は文字部分を切り取る。

XEB-3

簡易保険25周年・郵便年金15周年 (父(兵士)と日の丸の旗を持つ男子)

縦71.8cm 横51.4cm

(原画) 三田康 [郵政博物館：8812-17]

(サイン) 「康」

(印刷) 東京印刷株式会社印刷

(裏面) 簡易保険 二十五周年十五周年 (2枚のうち1枚)

※2枚

—————
XEB-4

郵便局の簡易保険（女性）

縦36.2cm 横51.2cm

（第二次大戦後）

（印刷）凸版印刷株式会社印刷

※ 2 枚

—————

XEB-5

皆様の簡易保険 創業35周年（手に持つ保険証書）

縦72.4cm 横51.1cm

（印刷）凸版印刷株式会社印刷

※ 2 枚

—————

XEB-6

これからは計画の時代 簡易保険

縦37.4cm 横51.4cm

（印刷）日本応用印刷株式会社印行

—————

XEB-7

簡易保険 保険金を 2 倍

縦36.4cm 横51.5cm

—————

XEB-8

幸福は手近なところに 手軽で確かな簡易保険（幼女）

縦51.7cm 横36.6cm

（第二次大戦後）

（原画）田沢八甲

（サイン）「八甲作」

—————

XEB-9

簡易保険は700円まではいれます

縦45.9cm 横62.1cm

1938年（昭和13）[通信協会雑誌 360号]

*上下に金具あり。

※ 2 枚

—————

XEB-10

簡易保険は千円まではいれます

縦59.6cm 横42.4cm

※ 2枚

XEB-11

一億の「もう一口」で一万機！ 簡易保険は今度の改正で1人2,000円まで加入出来ます

縦72.6cm 横51.3cm

(印刷) 大日本印刷株式会社印刷

※ 2枚

XEB-12

簡易保険 (母親と子ども3人)

縦77.4cm 横52.8cm

(印刷) (東京) 共同印刷株式会社印刷

* 下に金具あり (上部脱落か)。

XEB-13

20億円 簡易保険

縦77.6cm 横52.1cm

1930年 (昭和5)

(印刷) 凸版印刷株式会社製

* 上下に金具、紐あり。

(裏面墨書) 二十億円 (保険)

XEB-14 (図8)

拳って翼賛揃って保険 簡易保険郵便年金 (朝日)

縦77.6cm 横52.6cm

(サイン) [あり: 未詳]

(印刷) 東京印刷株式会社印刷

(裏面墨書) 簡易保険郵便年金



図8 XEB-14 拳って翼賛揃って保険
原画: (作者未詳)

XEB-15

備へよ常に祖国の為に 簡易保険郵便年金 国民精神総動員（飛行機と富士山）

縦93.4 横61.6cm

（印刷）「SBK」凸版印刷株式会社印刷

*上下に金具、紐あり。

※大破

XEB-16

心たのしく簡易保険（鳥籠と女性（東宝 田代百合子））

縦84.1cm 横59.0cm

（第二次大戦後）

（撮影）早田雄二

（印刷）株式会社久栄社印行

※2枚

XEB-17（図9）

小さな掛金大きな安心 簡易保険（農家の夫婦と子ども）

縦92.8cm 横62.2cm

（原画）寺内萬次郎

（サイン）M.Terauti

（印刷）東京 共同印刷株式会社特許オクデン法製版印刷

*上下に金具。



図9 XEB-17 小さな掛金 大きな安心
原画:寺内萬次郎

XEB-18

ご家族みんな簡易保険 全国郵便局取扱（女とこどもの顔）

縦72.7cm 横51.4cm

（第二次大戦後）

（印刷）Designed and printed by G.T.Sun

※2枚

XEB-19

かけて働け保険のたすき 簡易保険 (たすき掛けではたきをかける女性)

縦77.6cm 横110.0cm

XEB-20

必勝の信念を270億貯蓄に示さう 簡易保険一億新加入運動 逋信省 内務省・情報局・大政
翼賛会 他

縦73.7cm 横52.1cm

(原画) 田沢八甲

(サイン) 「八甲え」

(印刷) 大日本印刷 _印刷

※ 2 枚

XEB-21

保険金二十五億円家あり人あり保険あり簡易保険 (農婦)

縦77.4cm 横53.7cm

1933年 (昭和8) [簡易保険 43号]

(原画) 三村常吉 [郵政博物館: 4703-19]

(落款印) 「石邦」

(印刷) 東京 日清印刷株式会社特許KIパントン製版印刷

(裏面墨書) 保険ポスター

* 上下に金具、紐あり。

XEB-22

災難に予告なく保険に後悔なし 簡易保険 (災害現場と男性)

縦77.2cm 横53.0cm

(印刷) HB 凸版印刷株式会社印刷

(裏面墨書) 災難ニ予告ナク保険ニ後悔ナシ

* 上下に金具、紐あり。

XEB-23 (図10)

保険は幸福の母 簡易保険 (母子)

縦78.5cm 横53.2cm

1933年 (昭和8) [簡易保険 41号]

(原画) 前田慶蔵

(サイン) 「K.Maeda」

(印刷) 秀英社 ダイレクトプレート プロセス

*上下に金具、紐あり。

※ 2枚



図10 XEB-23 保険は幸福の母
原画：前田慶蔵

XEB-24 (図11)

二人の会話 簡易保険局 (四コマ漫画：ノンキナトウサン)

縦75.7cm 横53.4cm

(原画) 麻生豊

(サイン) 「Yutaka Asou」

(印刷) 凸版印刷株式会社印刷

*上下に金具、紐あり。

※ 2枚

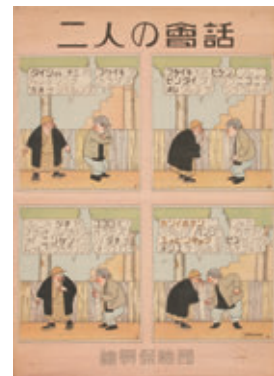


図11 XEB-24 二人の会話 (ノンキナトウサン)
原画：麻生豊

XEB-25

いつもたのしく簡易保険 契約高1兆円突破記念!

(水木麗子 (東映))

縦72.6cm 横51.0cm

(第二次大戦後)

(撮影) 早田雄二

(印刷) 株式会社久永社印行

XEB-26 (図12)

力の泉 安心のもと 簡易保険 (震災の被災地と大工の男性)

縦76.3cm 横52.9cm

1924年 (大正13)

(原画) 浅井松彦 [通信協会雑誌 218号]

(印刷) 株式会社精美堂特許オグデン法製版印刷

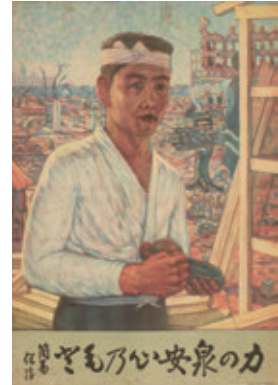


図12 XEB-26 力の泉 安心のもと
原画：浅井松彦

XEB-27

ご家族もみんな簡易保険 (母親と子供2人)

縦72.4cm 横50.0cm

(第二次大戦後)

XEB-28 (図13)

吾等の保険 朝鮮簡易生命保険 (水牛にのる少女)

縦91.5cm 横61.8cm

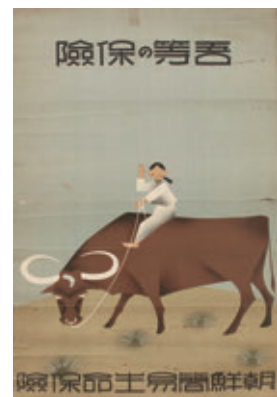


図13 XEB-28 吾等の保険
原画：未詳

XEB-29

あかるい家庭に簡易保険 (子供の顔 (写真))

縦72.6cm 横51.3cm

(第二次大戦後)

(印刷) (永代橋) 久栄社印刷所製

XEB-30

簡易保険揃って健康・挙って保険 保険金三十億円 (両親と子供)

縦90.5cm 横61.4cm

1935年 (昭和10) [簡易保険 50号]

(原画) 熊谷慶清

XEB-31 (図14)

十月一日から郵便局で左の事務を取扱ひます 簡易保険 郵便年金
台湾総督府交通局 (台湾の風景)

縦75.5cm 横53.7cm

1927年 (昭和2)

(原画) 石川寅治

(サイン) 「寅」

(印刷) 株式会社一色活版所印行



図14 XEB-31 十月一日から郵便局で左の事務を取扱ひます
原画：石川寅治

XEB-32

知らず知らずのうちに掛けつづけられる簡易保険 (子供の顔)

縦53.0cm 横37.6cm

(原画) 田沢八甲

(印刷) 共同印刷株式会社 印刷

XEB-33

三倍保障の新しい保険 郵便局のクローバー保険 (木と親子3人)

縦36.2cm 横51.4cm

(第二次大戦後)

XEB-34

簡易保険は今度の改正で1人2千円まで加入出来ます 通信院貯金保険局

縦75.0cm 横52.3cm

(印刷) 中外印刷株式会社印行

XEB-35 (図15)

進む皇軍 後押し貯蓄 簡易保険 (兵士と農婦)

縦72.0cm 横51.2cm

(原画) 岸信男 [郵政博物館：4703-13]

(サイン) 「信」

(印刷) 東東949



図15 XEB-35 進む皇軍 後押し貯蓄
原画：岸信男

XEB-36 (図16)

保険報国興亜の力 簡易保険 (女性と飛ぶ飛行機)

縦76.9cm 横52.8cm

(サイン)「泉」か?



図16 XEB-36 保険
報国興亜の力
原画：泉治作か

XEB-37 (図17)

簡易保険をつける人は落ちて安心落ちねばなほ安心 (つなわたり)

縦78.7cm 横54.0cm

(原画) 岡本一平 [郵政博物館：4703-22]



図17 XEB-37 簡易
保険をつける人
は落ちて安心落
ちねばなほ安心
原画：岡本一平

XEB-38

護れよ祖国 備へよ保険 簡易保険 (銃を取る兵士)

縦77.4cm 横52.6cm

(印刷) 凸版印刷株式会社印刷

(ゆうせいれきしぶんかけんきゅうかい だいろくぶんかかい)

本分科会メンバーであった杉山伸也氏は2025年9月2日、逝去されました。杉山氏は郵政歴史文化研究会に美術を主題とした分科会を組織することを提案され、設立された第6分科会の活動にも積極的にご参加いただきました。ご生前の功績をしのび、謹んで哀悼の意を表します。